

すこやかライフ

成人保健課(〒564・0072出口町19・2☎6339・1212☎6339・7075)
 保健医療総務室(〒564・0072出口町19・3保健所内☎6339・2225☎6339・2058)
 地域保健課(〒564・0072出口町19・3保健所内☎6339・2227☎6339・2058)
 国民健康保険課(☎6384・1239☎6368・7347)
 口腔ケアセンター(〒565・0862津雲台1・2・1☎6155・8020☎6873・3030)



保健所の
ホームページ



成人保健課の
ホームページ

各種 健(検)診 加入している公的医療保険の種類に関係なく受診可。65歳以上は無料。64歳以下で吹田市国民健康保険の加入者は国民健康保険課へ、市民税非課税・生活保護世帯は検診の2週間前までに成人保健課へ申請すれば、いずれも無料。☑成人保健課。

健診	内容	費用
30歳代健診	血圧測定、尿検査、血液検査など。30～39歳。	無料
成人歯科健診	☐腔内検査、歯面清掃など。30～74歳。障がいのある15～74歳の人は通年受診可。	
胃がん検診 ※2	胃内視鏡検査 ※3。50歳以上で今年偶数年齢になる人。	2000円
大腸がん検診	便潜血反応検査。40歳以上。	300円
肺がん検診 ※4	X線検査。40歳以上。問診の結果、必要な人のみ喀痰検査。50歳以上。別途500円。	400円
子宮がん検診	頸部細胞診。20歳以上の女性で、今年偶数年齢になる人。問診の結果、必要な人のみ体部細胞診。別途500円。	500円
乳がん検診	マンモグラフィと視触診。40歳以上の女性で、今年偶数年齢になる人。	1000円
前立腺がん検診	血液検査。50歳以上の男性。	700円
結核検診 ※4	X線検査。65歳以上。	無料
B・C型肝炎検診	血液検査。20歳以上で、B・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない人。	
骨粗しょう症検診	骨量測定。20～70歳で年齢の下1桁目の数字が今年0か5になる人。	1000円
聴力検診	6周波の聴力検査。今年50・55・60・65・70歳になる人。	500円

誕生月かその翌月の受診を推奨。☑☑直接、協力医療機関へ。
 協力医療機関は市報4月号別冊と成人保健課のホームページに掲載しています。

集団検診 ※1	内容	日時	備考
胃がん検診 ※2	X線検査。50歳以上。1000円。昨年胃内視鏡検査を受けていない人。	☎(1)7月9日(出)、(2)7月21日(内)。いずれも午前9時～11時。	誕生月に関わらず受診可。☑保健センター。☑(1)6月24日(金)、(2)7月7日(休)までに☑か、検診名、希望日、住所、名前、生年月日、電話番号を郵送かファックスで成人保健課へ。多数の場合は日程を振り替えることがあります。
大腸がん検診	便潜血反応検査。40歳以上。300円。		
肺がん検診 ※4	X線検査。40歳以上。400円。喀痰検査は実施していません。 ※5	☎(1)7月9日(出) 午前9時～11時。	

- ※1 問診の状況により、市の検診として受診できない場合があります。
- ※2 どちらかを選んで受診してください。
- ※3 のど、鼻腔への局所麻酔以外の痛み止めや、鎮静薬は使用できません。
- ※4 65歳以上の人はいずれかを選んで受診してください。また、血痰のある人は検診の対象外です。速やかに医療機関を受診してください。
- ※5 50歳以上で、喫煙指数(1日の平均喫煙本数×喫煙継続年数)が600以上の人は、喀痰検査の対象となります。市内の協力医療機関で実施する肺がん検診を受診してください。



☑はこちら

その他の検査・健診

HIV・性感染症検査

HIV、クラミジア、梅毒の検査ができます。匿名。診断書は発行しません。☎月2回金曜日午前9時30分～11時30分。1人15分。結果説明は原則1週間後。☑保健所。☑各先着9人。☑電話で地域保健課へ。

国民健康診査(特定健診)

身体測定、尿検査、血液検査など。対象者には、誕生月の前月末に受診票を送ります。誕生月かその翌月に受診できない場合や、今年4月2日以降の加入者は国民健康保険課へ問い合わせてください。特定健診の代わりに人間ドックを受診した人には受診費用の一部助成制度があります。詳しくは14ページへ。☎40～74歳の吹田市国民健康保険加入者。国民健康保険以外の加入者は、加入している健康保険の保険者へ問い合わせてください。☑国民健康保険課。

在宅要介護者・児訪問歯科健診

年1回、自宅で歯科健康診査を行います。☑要介護者・児で通院ができない人。☑電話かファックスで吹田市歯科医師会(☎63389・6881☎63389・3338)

相談

☎面談は予約制。☎月～金曜日。祝・休日、年末年始は除く。

健康相談 健康、食事、禁煙、生活習慣病の予防など。保健師などが電話や面談で相談に応じます。☑保健センター、同センター南千里分館。☑成人保健課。

こころの健康相談 統合失調症や気分障がい、アルコールや薬物、ギャンブルなどの依存症、認知症、ひきこもりなど。☑保健所。☑地域保健課。

医療相談 医療機関に関する相談や苦情などに応じます。☑保健所。☑保健医療総務室。

くらしの情報

☐腔ケアセンターの催し

障がい者(児)のお口のケアとリハビリテーション。歯科医師による☐腔の健康度チェックと☐腔ケア指導。☎7月24日(日)午前10時～正午。☑会場へ来所できる障がい者(児)。難病や脳梗塞後遺症がある人も可。☑先着10人。☑6月1日(水)から☎と年齢を電話かファックスで同センターへ。

ドクターメモ

緑内障

会社の健康診断や人間ドックなどで多くの病気が早期に発見されるようになってきました。眼科健診も同様で、異常を指摘されて眼科を受診すれば病気の早期発見、早期治療につながります。眼科健診で疑われる病気はいくつかありますが、その中でも緑内障は重要な疾患の一つです。初期には自覚症状が無く、放置して進行すれば失明に至ることもあります。

緑内障は眼球と脳を結ぶ視神経が痩せて細くなるため、眼球の視神経の付け根にあたる視神経乳頭がへこんでしまいます。これを「視神経乳頭陥凹拡大」と呼んでおり、緑内障とは書いていなくても緑内障の疑いを意味します。ほかに「網膜神経線維束欠損」、また緑内障には眼圧が関係するため「高眼圧症」などの表現も同様です。

緑内障の診断には眼底検査のほかに眼圧検査、視野検査、光干渉断層撮影などがあります。いずれも、さほど苦痛を伴わず時間もあまりかからない検査なので、安心して気軽に受けることができます。

緑内障と診断されれば治療の必要がありますが、眼圧を下げて進行を抑える治療しか無く、まずは点眼薬を用います。以前は種類も少なく1日に4回くらい点眼しなければいけませんでしたが、改良が進んで今の主流は1日1回です。点眼が有効でない場合、眼圧を下げて進行を抑えるためにレーザー治療や手術療法を選択します。

緑内障という病気が進行すると視野が失われ、最後は失明に至ります。失明しなくても失われた視野は戻らないため、緑内障は早期発見、早期治療が重要です。

吹田市医師会 安藤 彰